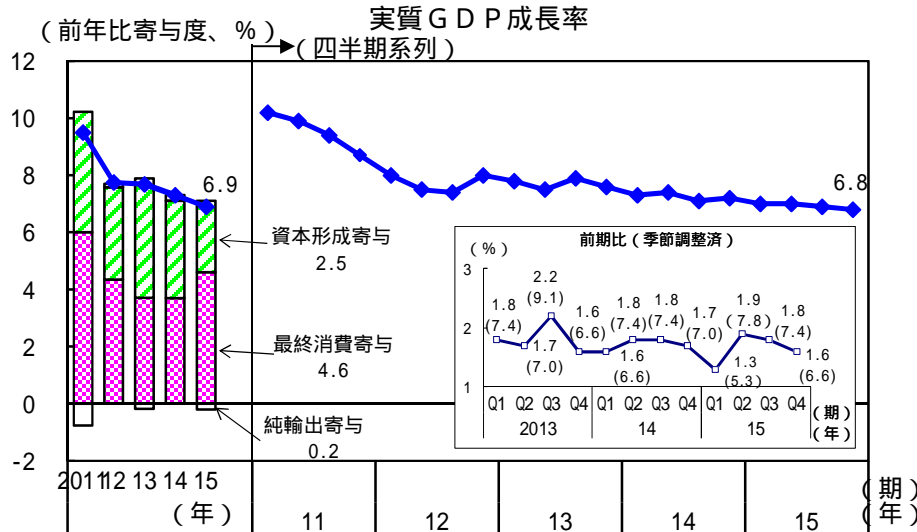


2. アジア地域

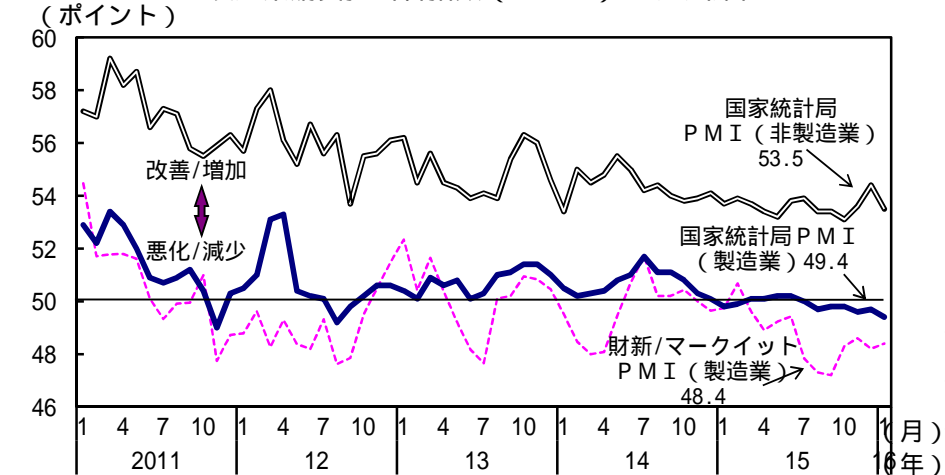
中国：

中国では、景気は緩やかに減速している。



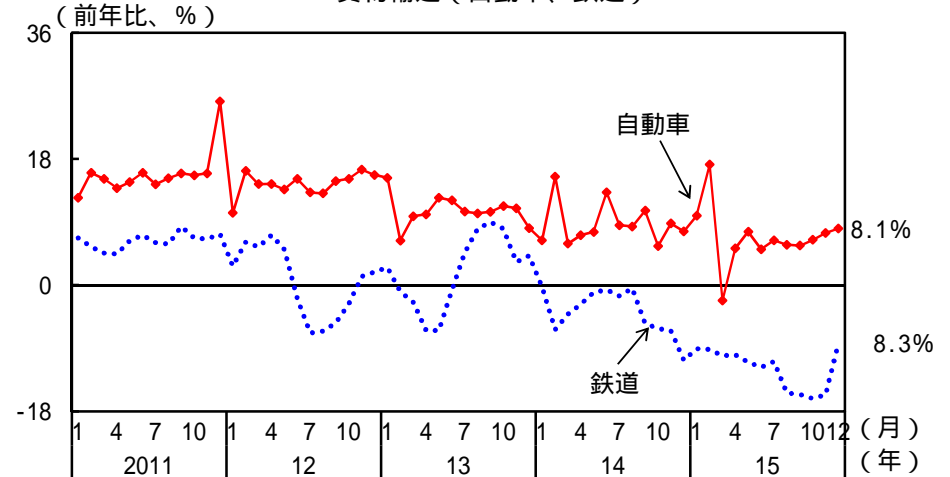
（備考）前期比のグラフの（ ）内の数値は内閣府試算による前期比年率。

製造業購買担当者指数（PMI）はやや低下



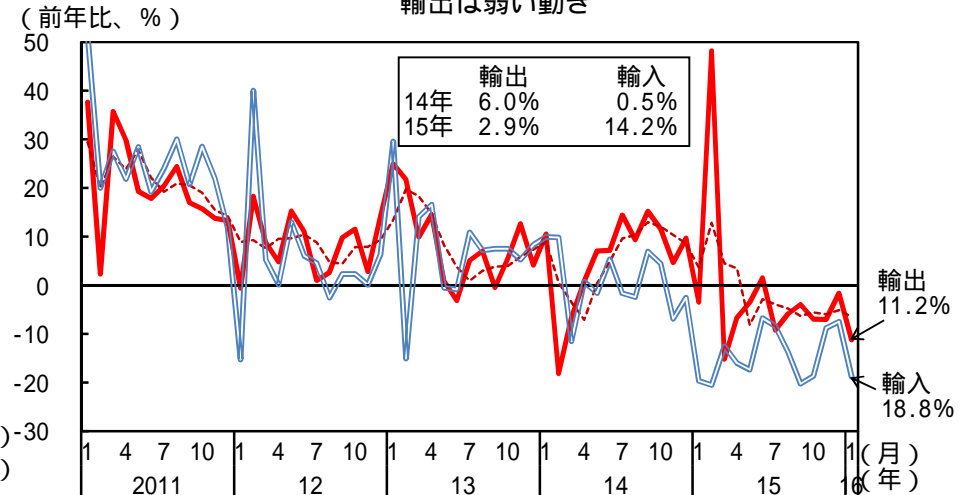
- （備考）
1. 国家統計局、財新/マークイットより作成。財新は中国の経済メディアであり、マークイット社との共同調査により、独自にPMIを発表している。
 2. 製造業・非製造業の業況に関わる各項目について企業調査を行い、各々が前月に比べてどう変わったのかを集計。
 3. 統計対象社数は、国家統計局が3,000社（製造業）、4,000社（非製造業）、財新が420社。

貨物輸送（自動車、鉄道）



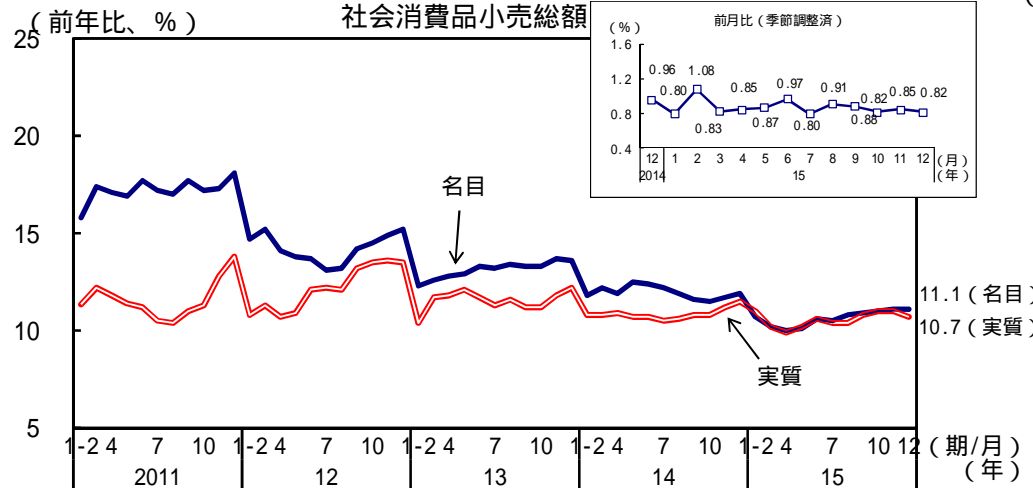
- （備考）
1. 輸送量ベースの前年比。
 2. 14年以降の自動車輸送量の伸びについては、当局発表の累計の伸びを基に当室試算。

輸出は弱い動き



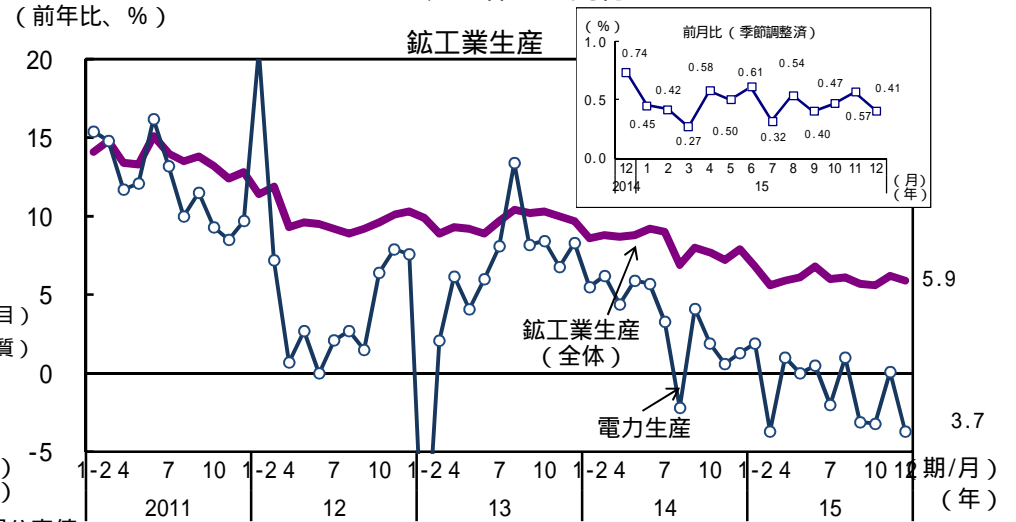
- （備考）
1. 輸出入とも実額（実線）。点線は輸出の3か月移動平均。
 2. 春節（旧正月）休暇は、11年2月2～8日、12年1月22～28日、13年2月9～15日、14年1月31日～2月6日、15年2月18～24日、16年2月7～13日。

消費は伸びがおおむね横ばい

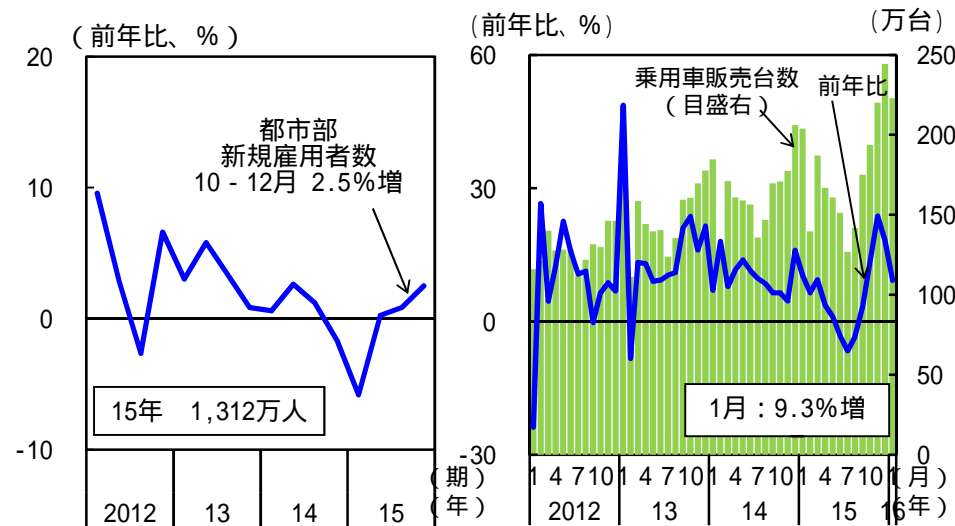


(備考) 1. 実質伸び率は、11年8月までは小売物価指数を用いて試算。9月以降は国家統計局公表値。
 2. 中国では、消費刺激策として15年10月1日から、排気量1.6リットル以下の小型エンジン搭載車に対する車両購入税を半額にする措置を実施中。

生産は伸びが鈍化

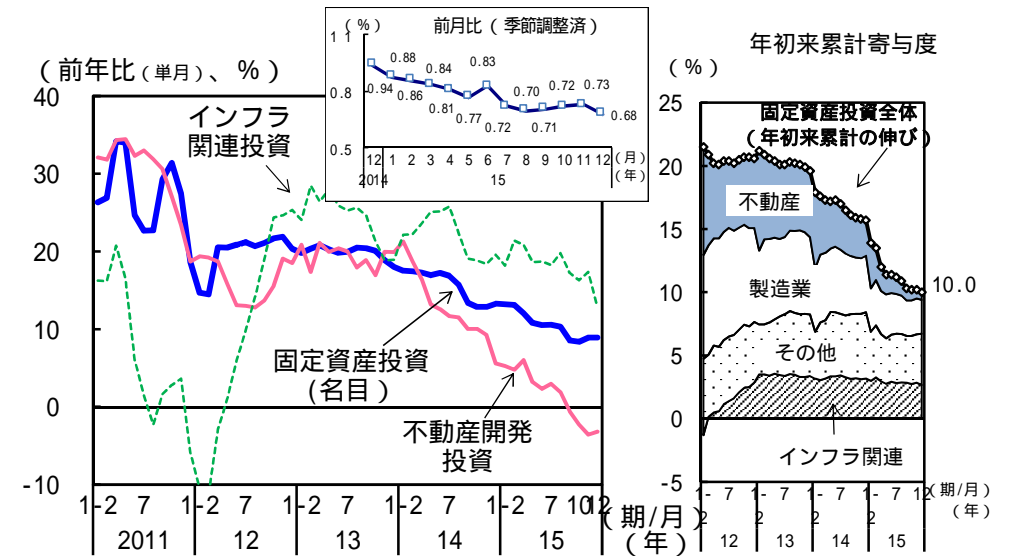


都市部新規雇用者数はおおむね横ばい、 乗用車販売台数は政策効果もあって持ち直し



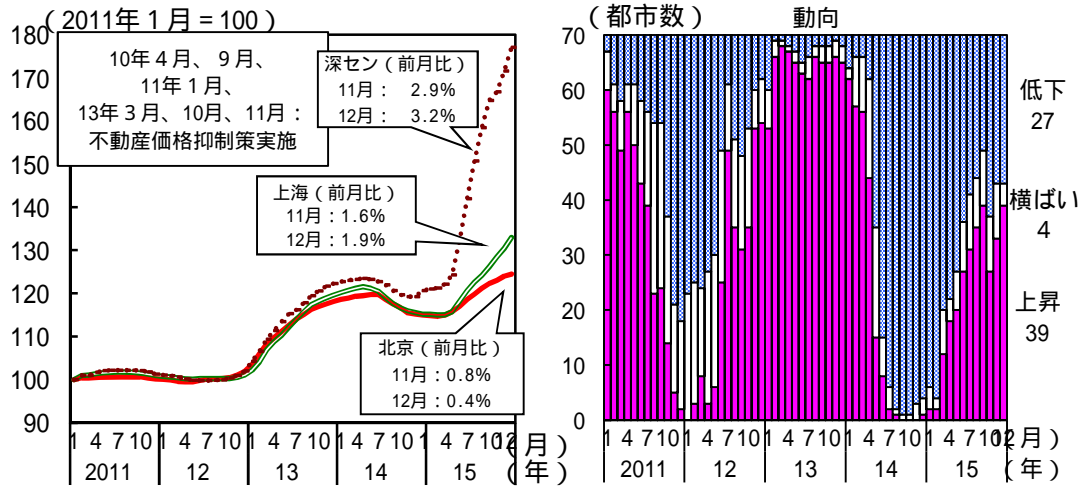
(備考) 1. 都市部新規雇用者数は、四半期の累計で公表された値を単四半期化した。
 2. 乗用車販売台数は出荷ベース。年間販売台数(前年比)は、13年15.7%増、14年9.9%増、15年7.3%増。

固定資産投資は弱い伸び



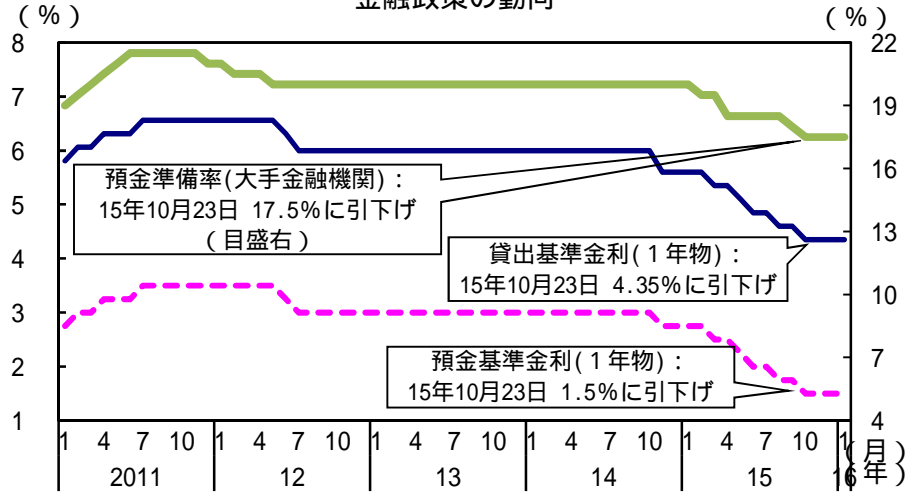
(備考) インフラ関連投資は、道路、ダム、鉄道等の投資額を合算したもの。また、いずれも単月試算値の3か月移動平均の前年比。

新築住宅販売価格:主要都市で緩やかに上昇



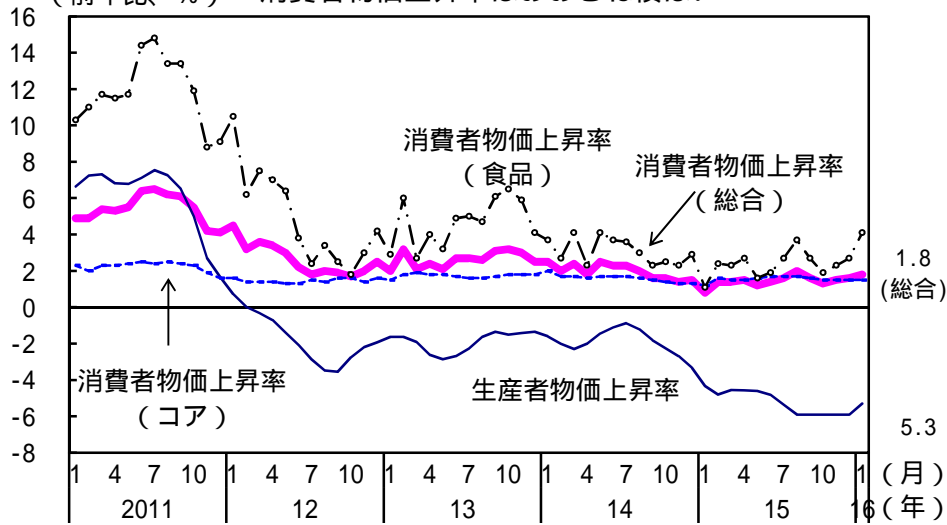
（備考）価格水準は、11年1月の1㎡当たりの価格を100として指数化。動向は、前月比でプラスの都市を「上昇」、±0.0%の都市を「横ばい」、マイナスの都市を「低下」とした。

金融政策の動向



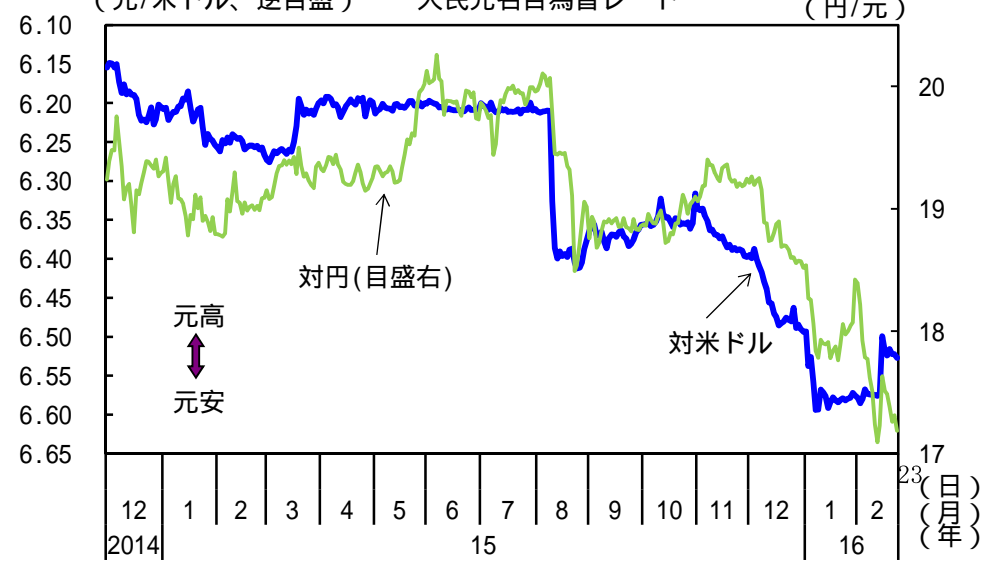
（備考）日付は政策金利及び預金準備率の引上げ／引下げ発表日。

（前年比、%） 消費者物価上昇率はおおむね横ばい



（備考）コア消費者物価は、総合から食品とエネルギーを除いたもの。

（元/米ドル、逆目盛） 人民元名目為替レート



（備考）8月11日-13日、中国人民銀行は人民元取引基準値を前日比 4.5%引下げ。元安誘導を実施。

その他アジア（韓国、台湾、インドネシア、タイ、インド）：

韓国では、景気は内需を中心に持ち直しの動きがみられる。台湾では、景気は弱い動きとなっている。

インドネシアでは、景気は内需を中心に持ち直しの動きがみられる。タイでは、景気は内需を中心にこのところ持ち直しの動きがみられる。

インドでは、景気は内需を中心に緩やかに回復している。

